広報まき

1973年9月10日
第179号
発行　新潟県巻町役場
電話代表(2)3131
編集　商工観光課
印刷所　北洋印刷株式会社

住民基本台帳人口
（昭和48年8月31日現在）
総人口　27,602人
男　13,455人　女　14,147人
世帯数　6,363

金属工業団地を造成

西川築堤工事に着手

町では、金属工業団地の造成を、妙有院北西の赤さびおよび安尻地内に、面積五万七千平方メートルの予定で進めています。

このほど、入札が終わり造成事業の一部、西川堤防築堤工事が着工されました。

本工事は、秋の収穫後着工の予定で来春の完工をめざしています。

町の工業は事業所百六十余、一部を除いては住宅地内に、しかも自然発生的に立地していることから、公害（振動、騒音、粉じん、悪臭、汚水など）としての住民とのトラブルもあり企業も自からの問題として頭をいためているものです。

このような実情の中で、町内の金属工業関係者は適地に工業団地をつくり、事業の共同化、協業化による生産性の向上をめざし、工場の集団化をはかろうとする動きが活発になり、四十六年八月に金属工業団地造成組合（参加企業二十五、山田清組合長）を結成、候補地の選定、資金ぐり、運営等について検討していたものです。

町でも、これからの工業振興は自然との調和、人間尊重をその理念として秩序ある開発をめざすことになり、工業団地を設定し住宅地内に散在する中小企業を誘導し、公害の排除、生産性の向上、町内余剰労働力の就業の場をつくることとなったものです。

昨年来、関係農地の所有者と話し合いが続けられており、このほどようやく大方のご理解とご協力によって工業団地造成の目途がたち、一部工事の着手をみたものです。

また、国でも、最近の農村経済の動向などから、農村地域への工業導入を促進し農業従事者の就業および工業導入と相まって農業構造の改善をはかる重要な課題として、これを促進しています。

始まった新米の検査（4日マンモス倉庫で）

新米の出荷始まる

今月四日からいっせいに四十八年産米の検査が始まり、ここ経済連マンモス倉庫（七区）にも、この日一日だけで二千二百俵の「超路早生」が運びこまれました。

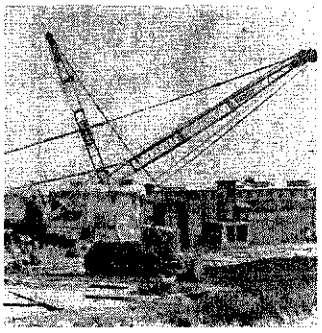
今年は三等米が多く、乳白、基部未熟が特色だと検査官。農家もでき秋の出荷ににこにこ顔。しかし米価値上りの話になると「あれくらいの上げ幅では話にならん」と、農家経済のきびしい一面をのぞかせていました。

くい打ち工事始まる

巻小改築事業

八月十一日に開かれた臨一時議会で、巻小学校改築工事に伴う契約締結が可決されましたので、ただちに本契約を結び、くい打ち工事にはいりました。

これにより、高学年普通教室棟は一億二千五百万円で、四十九年七月二十日までに完工し、同時に暖房工事は二千百万円、電気工事は八百四十万円で教室棟といっしょにできあがる予定です。



始まったくい打ち工事

公害対策に全力

町、規制工場立ち入り検査も

町では、公害対策について将来の発生を未然に防止し、環境保全に努めるという前向きの姿勢で取りくんでいます。

現在までは、さほど深刻な粉争例はありませんが、規制対象工場の立ち入り検査、都市下水路の終末と一級河川の水質検査を実施このたび、十六万五千円で騒音測定器を購入し、騒音一メートル中二千四百万個おり、公害にも目を光らせています。

ここで、町の公害防止対策のうち、水質検査と騒音防止について紹介します。

◆水質検査

今年の二月から実施しており、分析については吉田町にある県環境衛生研究所（関口忠吉所長）に委託し検査を進めています。

矢川、西浦、東浦、旧仲江間、漆山金属前の六排水路と、数工場の排水を定期的に検査しています。

排水路については、とくに大腸菌が多いことがあげられ、多い所で百ミリリットル中二千四百万個おり、尿の平均二百三十五万個とくらべて、相当多いことになります。

騒音測定する職員（四ツ谷通り）

町では、対策の第一歩としてその原因究明を行なうことにしました。

工場排水については、とくに公害といわれるものはありませんが、四月に下和納の某工場からシアン七・七一六PPMを検出、町と保健所で指導した結果、工場では間違っていた処理方法を改めました。

◆騒音防止

騒音防止については、公害申し立て（苦情）したものについては、そのつど測定し商工会からの測定依頼とあわせ、防止強化につとめています。

また、田へ還元する場合は次のことに注意しましょう。

◆収穫後は良質の堆肥作りにつとめる◆乾田では秋～春にすき込みを◆湿田ではすき込みの場合は、チッソの添加や腐熱促進剤の使用を。

なお、やむをえず大量の稲わらを焼く時は、消防署へ連絡してください。

迷惑なワラ焼きの煙

堆肥作りで田に還元を

近年、秋の取り入れ時期になると、稲わら焼きによる煙が市街地や道路をおおい、目やのどの目みを訴える人や、火災と間違って消防署に電話をかけるなどの稲わら焼き公害が問題になっています。

稲わら焼きは、稲刈りの機械化とともに年々ふえてきていますが、生わらの処理は地力の推持、増進のためにも収穫作業の一貫として、計画的、集団的に行ない、稲わらの焼却はなくするようにしてください。

アメシロの二化期発生中

緑を食べる害虫アメリカシロヒトリ（アメシロ）は町民のみなさんのご協力により少なくなりましたが、八月下旬から二化期が発生をはじめています。

六月からはじめた薬剤散布で少なくなっており、目につかないので忘れている方もあるようですが、いま薬剤散布をしておくと来年の発生を大きくおさえることができます。

町内ごとの薬剤散布を徹底的に行なってください。

10月5日から多加良祭り

ミスパレードなど多彩

多加良祭りが十月五日から十日までの六日間にわたって行なわれます。

ことしはミス多加良まつりパレード、がらくた市など趣向をこらした行事を予定していますので、町民こぞって祭りを楽しんでください。

予定される協賛行事のあらましを紹介します。

▽**がらくた市**　一般家庭の不用品で使用できるものを交換販売します。▽**ミス多加良まつり募集**　応募資格は十八歳以上で郡内在住の未婚女性。写真による第一次審査、面接による最終審査でミス一名、準ミス二名を選びます。九月二十日まで商工会へ申し込みを。

祭り期間中にオープンカーで市中パレードを行ないます▽**民謡流し大会**▽**怪獣パレード**▽**多加良まつり写真コンテスト**　祭りのスナップを十月二十日までに商工会へ▽**チビッコのど自慢大会**

漆山小学校前に歩行者用信号機

漆山小学校前に歩行者用の信号機がつきました。

同校の校門は、県道巻～白根線に面しており車の交通量も多く、登下校のときは事故が心配されていました。

夏休みの終った今月からさっそく利用され、みんなに喜ばれています。

赤ちゃん登場

山本美紀（みき）
☆生年月日　四十七年一月一日
☆住所　松野尾
☆両親の名まえ　正（父）秋子（母）
☆続き柄　長女
☆名づけ親　おばさん
☆名まえの由来　女らしく、すなおな子になるように
☆愛称　みーちゃん
☆好物　バナナ、アイスクリーム

乙川　泰（やすし）
☆生年月日　四十七年六月十四日
☆住所　四ツ郷屋
☆両親の名まえ　十郎（父）信子（母）
☆続き柄　三男
☆名づけ親　父
☆名まえの由来　抱擁力のある子になるようにと
☆愛称　やっちゃん
☆好物　カレー、バナナ、スイカ

係りから　この欄は一歳から二歳までの赤ちゃんを紹介します。希望者は広報係までご連絡ください。

在宅進行性筋萎縮症者医療無料検診があります 9月30日新大病院（問い合せは15日までに厚生課へ）

巻地区にも運動会を
準備委員が打ち合せ会

巻地区にも運動会を復活しょうと、八月三十日公民館で各団体の代表者が集まり、話し合いが行なわれました。

この会議には、区長会、体育協会、陸上競技協会、婦人会、商工会、農業協同組合、巻小中PTAと、教育委員会、公民館の関係者が集まりました。

運動会の復活には全員が賛成で、期日などの大綱を決め、具体的な事がらについては実行委員を決めて検討することになりました。

決まった大綱は次のとおりです。

▽名称 巻地区町民運動会▽主催 教育委員会▽主管 区長会、体育協会、実行委員会（各団体の代表）▽会場 巻中学校グラウンド▽期日 十一月三日の予定午前九時から午後三時三十分まで。雨天の場合は四日（日）▽競技方法 白（潟頭、安尻、下和納、赤さび、一～二区、堀山団地）黄（三～五区、東六区）青（六～十区）赤（十一～十三区、五部落）の四チームにより種目の得点を争う。▽種目 町民が気軽に参加できるものにする。

なお、今月六日実行委員会が開かれ、種目などの具体的なことの話し合いをはじめました。

角田ちょうちん登山
250人でにぎわう

山頂での献灯式

八月二十四日、第一回角田ちょうちん登山が行なわれました。

新潟、燕からの参加を含めて二百五十人が参加、午後六時三十分に稲島公民館から登山をはじめました。

途中、八幡神社でご神火をいただき、椛谷で全員のちょうちんに点火、七時三十分に山頂につきました。

山頂では、稲島部落のおかあさんたちが作った、心づくしのおにぎりを食べ、椛谷から打ち上げられる十六発の花火をたんのうしました。

この、ちょうちん登山は参加者から喜ばれ、来年はもっと盛大にやってほしいという声があがっていました。

県交通安全作文優秀賞
「自動車にのって」

巻小学校六年 頓所鹿乃子

四月八日、おとうさんの運転で新潟まで自動車にのって行った。

わたしは、おとうさんに「安全運転だよ」といったら、おとうさんはニコッと笑って「まかしとけ」といった。

本町通り、四ツ谷通りは自動車道路のようだ。

せまい通りに自動車がのろのろと走っている。

人間や自転車は通ってはならない道路のようだ。

ふみ切りに一時停止、「よし、よし」といったら、おとうさんはテレ笑いをしていた。ふみ切りを過ぎた

おとうさんは「こんな歩道があると、運転手もらくなんだがなあ」と、ひとりごとをいっていた。

一一六号線バイパスに入ったとたん、車はどんどんスピードをあげた。

六十五キロ、「おとうさん五キロオーバーだよ」といったら、「少しくらいまけとけ」と、いった。

そんなわたし達の車をヒューヒューと追い越して行く車がある。

おとうさんは「百キロも出しているんじゃないの」といった。二台、三台、おとうさんは「勇ましいのがいるな」と首をすくめた。

運転手は良い人ばかりでない。途中で、ねこのペチャンコの死体が四つ、残こくだ。あれが人間だったらと思うとゾーとした。

また信号だ。青だ。

前の車が右にポカポカとあかりをつけている。

「右に曲るんだね」といったら「そう」といって、少しスピードをおとして、左側をスーと追い越して止まっている車の前に出たら反対の方からきた小さい車が、急に向きを変えてわたしの車の前にグーンと出た。

わたしは「アッ」とさけんだ。車がガクンと止まりわたしの体が前につんのめった。心臓がドキドキしている。「アッ」交通事故だと思い、足がガクガクした。

小さい車の運転手は、何度も何度も頭をペコペコさげている。

おとうさんの方が正しいんだな、と思った。

自分の方が正しくとも、ぶつかればこまる。わたしは考えたが、ぜったい事故にあわない方法はないんだな、と思った。

気をつけるだけではだめだ。何かもっともっと安全な方法はないんだろうか。

わたしは、いつまでもこんなことを考えていた。

鈴虫飼育盛んな峰中
やりぬく心を育てる

四十五年から全校で鈴虫を飼育している峰岡中学校では、今年の夏休みも生徒が鈴虫を飼い、情操教育の面で大きな成果をあげました。

最近の生徒は、自然に親しみ生きものを飼うことが少なく、鈴虫を飼うことで情操教育に役立てばと、はじめられたもので、白根小学校へ転校した山崎先生が最初に飼いはじめてから、急速に飼育熱が広まり、今年は全校生徒百七十九人のうち百二十五人が飼うまでになりました。

学校では、飼育のパンフレットをつくり指導していますが、生徒も「自分で飼ってみると、鈴虫のいろいろな生態がわかっておもしろい」と大喜び、阿部校長も「これは、理科的な考えでなく生きものを育てそれを最後までやりぬく心を養いたい」といっています。

角海浜の民具
毒消丸の袋

三区の称名寺も赤さびの城願寺も、昭和の初年までは角海浜で毒消丸を製薬していた寺院である。

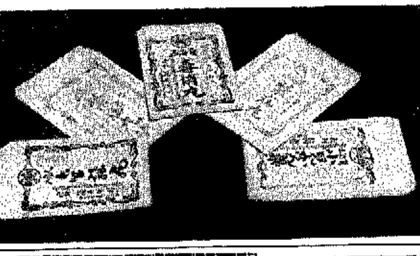
毒消丸の起源については新大教育学部小村弌教授の著された巻町双書⑤「越後の毒消し」（絶版）によれば、称名寺に伝わる遍路伝授説と城願寺に伝わる唐人伝授説などがあり、その時代は慶長のむかし（称名寺）との言い伝えがあるという。さて、昔の寺院、旧家には必らずといってよいほど、家伝薬があり施薬を行なっている。

毒消丸も始めはそれと同じであったのであろう。

では、いつごろからその行商が始まったのでしょうか。これも角海浜での製薬元の一つであった埼玉県大宮市の瀧深周元家には、今より百二十二年前の嘉永二年の売り子の身元保証書などが保存されており、行商の始めはだいたいそのころかと判断されています。

写真は、城願寺が製薬販売していた薬の袋で、毒消丸の他には金証丸、禁痛丸小児かん薬があり、袋には竜の文様と百廿粒入、定価金五拾銭、卍軒篠原兼司と先代住職の名が印されている。

文 藤田治雄
写真 斎藤文雄
（史学会）



役場、ベスト8に
実業団ホッケー大会

第十五回全日本実業団ホッケー選手権大会が、八月二十五日から二十七日までの三日間、茨城県東海村で開かれました。

大会には、町役場チームを含めて全国から二十五チームが参加し、熱戦をくりひろげました。

役場チームは一回戦で三菱モンサント（三重県）に二回戦は朝日新聞社（東京都）に勝ち準々決勝へ進みましたが、飯能市役所（埼玉県）に惜敗しました。

しかし、準々決勝で敗れたものの、ベスト8に残りました。

巻工敗れる

九月二日、青森県三沢市で行なわれた千葉国体ホッケー競技高校男子東北ブロック予選に出場した巻工業高校は、準決勝で沼宮内高校（岩手）に惜敗しました。

千葉国体に福井県
◇◇◇◇◇◇◇
新潟は三重に惜敗

ホッケー競技

千葉国体ホッケー競技東海北陸ブロック予選会が、八月十九日～二十日の二日間巻工業高校グランドで開かれました。

新潟、富山、福井、岐阜、三重、愛知、静岡の七県が千葉国体の出場権をかけて熱戦を展開しましたが、決勝で福井県が三重県を三対二で破り、十月に開かれる千葉国体に出場することになりました。

地元新潟県は一回戦で三重県と対戦、再三相手ゴールを脅かしましたが得点にならず、前半一点後半一点を許し、惜敗しました。

渋谷さん二位
関ブロ大会（砲丸）

中学校放送陸上県大会、砲丸投げで二位になり、八月十七日神奈川県藤沢市で開かれた、関東ブロック大会に出場した巻中学校三年生渋谷芳子さんは、十二㍍十四を投げ、第二位になりました。

お楽しみサイクリング "白岩の里"へ

夏のおはようサイクリングについで、お楽しみサイクリングを次により行ないます。

秋の澄みきった大空のもとボクもパパもママも家族そろって楽しんでください。

△日時 九月十六日（日）午前七時巻小集合七時三十分出発 △参加者 小学校五年生以上 △行き先 寺泊町"白岩の里" △中食 にぎり飯を用意のこと（肉汁を出します）

料理教室
栄養指導センター

肉だんごの野菜あんかけ

△材料（四人分） 鶏ひき肉一五〇g、塩こしょう、豚ひき肉一五〇g、卵一個、小麦粉、油、もやし一〇〇g、干ししいたけ三枚にんじん六〇g、ほうれん草五〇g、竹のこ五〇g、みりん大さじ二、さとう小さじ一、しょう油大さじ一、塩小さじ半分、片栗粉大さじ二、だし汁カップ二

△作り方 ①ボールに鶏と豚のひき肉を入れ、塩、こしょうを入れてよく練り混ぜる。とき卵を入れさらによく混ぜる。これを16位に分けてダンゴにし、表面に小麦粉をつけ油であげる。中まで火が通るように中火であげる②しいたけは水にもどしせん切り、にんじんは三センチのせん切り、ほうれん草はゆでて三センチの長さに、たけのこは三センチのたんざく切り③しいたけのもどし汁とだし汁を合わせて二カップとり、にんじん、しいたけ、もやしの順に煮る④調味料を入れて味をつけ、たけのこ、ほうれん草を入れ水どきの片栗粉を入れてとろ味をつける⑤肉だんごを器にもり、野菜あんをかける。

献血 9月13日（木）午前9.30～午後3.00まで役場で行ないます

住宅統計調査が十月一日現在で一区、二区、四区、五区、七区、八区、九区、十三区、赤さび、河井、福井、松山、角田、の一部で実施されます。

九月二十四日から準備調査にまわっていますのでご協力をお願いします。

写真特集

好評だった歩行者天国
区間・時間帯などが課題

七月二十九日から八月二十六日までの毎週日曜日、本町通りを中心に歩行者天国を実施しました。

巻警察署、交通安全協会巻支部、商工会、商店街、学校関係者、町などが全面的に協力し合い、郡内に先きがけて行なったものです。

期間中はスイカ割り、金魚すくい、路上ボウリング大会、落書き大会など、子ども中心の楽しい行事が行なわれ、夏休みに子どもの遊び場を確保するという初期の目的が達成されました。

八月二十九日には関係者で反省会を開きましたが、関係者の協力で子どもが車公害を忘れて楽しく遊ぶことができ、歩行者天国は成功だったと評価されました。

その中で、時間と期間が来年の課題として取りあげられ、おとな向けの日と子ども向けの日を分けてはどうか、午後九時までという要望が多いが商店街としては八時が限度、などの意見が出されました。

また、下町商店街から諏訪神社までのばしてほしいという要望が出されましたが、来年の課題とし、今年の歩行者天国は惜しまれつつも、これで終えるということになりました。

落書き天国 歩行者天国で一番ポピュラーな遊びは，なんといっても落書き。いま流行の怪獣，ウルトラマンなどテレビ顔まけの絵。子どもが一番生き生きとする時間だ。

チビッ子名人大奮戦 アーケード、路上と盛んに行なわれた五目ならべ。やじ馬?も交って応援もにぎやか。チビッ子名人の奮戦におとなもたじたじ。

延べ一万人でにぎわう 関係者は、はたして子どもたちが、集まってくれるだろうか、と心配したが、子どもはもちろん、おとなにも好評で期間中延べ一万人でにぎわった。

あ！はずれた 商店街も営利ぬきで、子どもたちを楽しませた。スイカ割りのサービスに子どもたちは大喜び。ワーイ割れたぞ、あ！はずれた……と一喜一憂。おとなも楽しいひととき。

不満そうな中学生 落書きなんかしてもつまらない。キャッチボールをしたい……と不満そうな中学生。卓球には熱中していたが、確かに中学生の遊びは少なかったかも。

角田山周辺に公園法適用
建築物は知事の許可

角田山、海岸一帯は、自然の風景がすぐれているということで、佐渡・弥彦国定公園に指定されています。

このすぐれた風景を守るため、この公園内には自然公園法が適用され、自然をそこなう行為を規制しています。

佐渡・弥彦国定公園は、図のように特別地域と普通地域に分けられ、規制内容も異なります。

◆特別地域内で知事の許可がいる行為

①工作物の新、改、増築②木竹の伐採③鉱物の掘採土石の採取④河川、湖沼の水位、水量を増減すること⑤広告物等の掲出、設置または工作物等に表示すること⑥水面の埋め立て、干拓⑦土地の開墾、形状の変更⑧高山植物等の採取⑨屋根壁面、へい、橋、鉄塔、送水管等の色彩変更

◆普通地域で知事に届け出する行為

(一)次の基準以上の工作物の新、改、増築

①建築物、高さ十三㍍または延べ面積千平方㍍②送水管 長さ七十㍍③鉄塔 高さ三十㍍（改、増築後に基準をこえる場合も含む）

(二)特別地域内の河川、湖沼等の水位、水量を増減すること

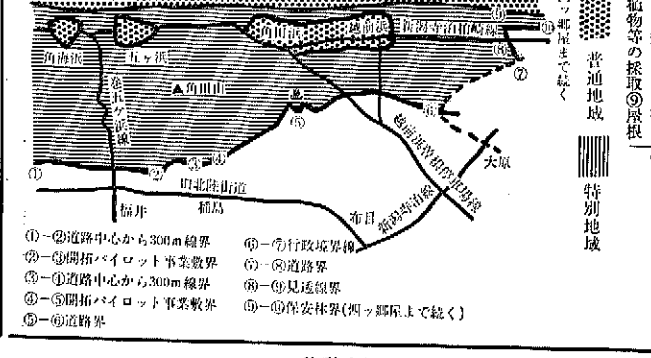
(三)広告物等の掲出、設置または工作物等に表示すること

(四)海面の埋め立て、干拓

(五)鉱物の掘採、土石の採取

なお、くわしくは商工観光課まで問い合せてください。

自然公園法が適用される範囲（略図）



移動交通事故相談 9月13日（木）午前10.00～午後3.00 役場で行ないます。

戦没者の妻、父母に給付金を継続支給

戦没者の妻は二十万円、父母等は十万円をそれぞれ国債で支給されましたが、国債の最終償還は、妻は本年四月三十日、父母は昨年五月三十日に完了したので継続としてこのたび支給されることになります。

◆**継続給付金の内容**

㈠戦没者の妻
△国債の額面　六十万円
▽国債の償還　無利子十年
▽償還金支払い日　四月三十日、十月三十一日△償還金　まい回三万円

㈡戦没者の父母等
▽国債の額面　三十万円
▽国債の償還　無利子五年
▽償還金支払い日　九月十四日▽償還金　一回六十万円

◆**請求権を有する者**

㈠前回二十万円を受給した妻（国債い号）、十万円を受給した父母等（国債い号）で、四十八年三月三十一日までに公務扶助料、遺族年金等の受給権、または受給資格を失っていない者
㈡公務扶助料、遺族年金等を請求中で、まだ裁定を受けていない者
㈢前回の特別給付金の請求が、時効によって支給されなかった者

◆**請求期間**

四十八年七月二十四日から三か年の期間内で、それ以後は請求権がなくなります。

◆**請求手続き**　厚生課（へ分室）に申し出てください

くわしいことは、厚生課に問い合せてください。

ふるさとムードの盆おどり

お盆から八月いっぱい、各部落で秋祭りといっしょに盆おどり大会が行なわれました。

盆おどりも年々ふえてきており、帰省客もはいってすっかりふるさとムード。

仁箇部落でも仮装盆おどり大会が行なわれ（**写真**）舌切りスズメ、子ずれオオカミ、消防団員のフラダンスなど、昔ながらのふん囲気で夜十時ころまで仮装を楽しみました。

写真ニュース

写真・洋画8人展

8月17日から19日までの3日間公民館で写真洋画8人展が開かれました。10区の上田哲哉さんら同好者がイラスト，写真，洋画，レタリングなどを持ち寄り開いたもので，連日100人の愛好者でにぎわいました。（写真）

重度精薄者、心身障害者など
10月から医療費無料

十月一日から次の方がたの医療費が無料になります。

◆**ひとり暮らし老人**　六十五歳以上六十九歳までの常時ひとり暮らしの老人

◆**重度心身障害者**（在宅者に限る）①重症心身障害者　重度の精神薄弱と重度肢体不自由が重複している者②重度精神薄弱者　知能指数が三十五以下と判定され日常における基本的な動作（食事、排便、入浴、起臥等）が個別介助を必要とする者、またはひん繁なてんかん様発作や、失禁、異食、興奮、多寡動、その他の問題行為を有し、常時注意と監護を必要とする者③重度身体障害者、身体障害者手帳を持っている方で、その障害の等級が一級または二級の障害者であって、日常生活における基本的動作が個別介助を必要とする者でその状態が継続すると認められる者

◆**日雇労働者健康保険給付満了者**

七十歳以上の者。六十五歳以上六十九歳までの身体障害者でいう一級、二級程度の廃疾の状態にある者、および一人暮らしの状態にある者。

☆**所得制限があります**

福祉年金および老人医療の受給資格と同じです。

なお、手続きやくわしいことについては、厚生課（分室）へ問い合せてください。

在宅重症心身障害者に介護見舞金

県では、在宅の重症心身障害者をお抱えの保護者に対し、日頃のご労苦に報いるため見舞金をおあげすることになりました。

☆**対象者**　町内にお住いの重症心身障害者の保護者（ただし、施設に入所している障害者の保護者は除かれます）

☆**金額**　一万円

☆**支給の時期**　十二月中旬

☆**届け出の時期**　九月末日まで

なお、重症心身障害者とは、重度の精神薄弱（知能指数35以下のもの）と、重度のし体不自由）身体障害者手帳に、上し、下し、上下し、体、体幹、し体不自由等の名称で、一級または二級と表示されているもの）とを合併している障害者のことをいいます。

身体障害者手帳を持っていられない方で、これらの障害をお持ちの場合は、すぐに身体障害者手帳の申請をしてください。

くわしくは、社会福祉事務所または厚生課（分室）へご相談ください。

うぶごえ（8月中届出）

なまえ	生年月日	保護者	住所
近嵐美紀	7・20	鉄也	松野尾
乙山政人	7・22	尭子	角田浜
樋田晃央	7・23	敏雄	4区
樋浦こずえ	7・24	文夫	葉萱場
渡辺孝子	7・24	孝司	13区
中条恵	7・24	時雄	東6区
田辺文一郎	7・24	丈夫	9区
松崎都	7・25	芳夫	2区
山本恵美	7・25	一栄	松野尾
丸山真由美	7・27	一義	3区
朝妻昌子	7・29	誠	稲島
長嶋亮	7・30	正栄	赤さび
大沢美保子	7・31	巌	竹野町
土田さおり	8・1	一男	並岡
伊藤忍	8・3	孝雄	越前浜
名古屋豊	8・3	孝行	7区
羽広耕太郎	8・7	繁雄	東町
吉田麗奈	8・8	常久	東6区
長谷川雅子	8・8	英明	10区
夏目芳明	8・10	保	3区
長沼八重子	8・11	康夫	堀山団地
竹見牧子	8・12	光雄	2区
松山寛	8・12	憲一	四ツ郷屋
渡辺いずみ	8・13	正	8区
坂下泉	8・14	志	柿島
小林ちあき	8・14	敏夫	7区
五十嵐俊之	8・14	哲夫	漆山
八木沢奈津子	8・15	孝男	布目
篠井恵子	8・16	正志	3区
本間しのぶ	8・17	文男	竹野町
平野裕士	8・17	尚美	12区
阿部哲	8・17	秀雄	角田浜
斎藤周太郎	8・19	修	角田浜
倉持恵子	8・19	勝男	10区
早見香織	8・24	三男	越前浜
宮路浩一	8・26	英治	8区
海藤由夏	8・26	健二	9区
阿部勇	8・27	勝司	8区
長谷川徳子	8・29	猛	6区

おくやみ（8月中届出）

なまえ	年齢	死亡日	住所
伊丹貢平	79	7・31	大原
桑原ミズ	87	8・1	稲島
猪俣千代	43	8・3	1区
霜鳥フジ	63	8・4	東6区
関根モト	92	8・7	角田浜
八尾坂トサ	90	8・12	仁箇
石塚松太郎	70	8・13	4区
阿部徳二	49	8・22	五ヶ浜
鈴木マト	61	8・23	8区

農業の道しるべ

増収のあとで

西村欣策

いよいよ秋、稲の収穫のまっ盛りである。

春以来の異常天候は、この地域には災害とならず豊作の方向に動いた。

これも、ただ漫然と手をこまねいて、しあわせを待っていたということではない。

もしも、耕地の改良に力をいたさず水路の整備をおこたっていたら、おそらく大不作の年になっていたであろう。

信濃川が渇水して、三十年来の水不足で、都市部の生活用水を規制するという状態なのに、この地帯の水田用水はかれなかった。

こうして、昭和四十三年につぐ豊作ができあがったのである。

「米は不作、米価は上がらない」という二重奏のエレジーをうたった、前三年と違って不本意ながら米価も上がり、米も望みに近く取れたとすれば、まあまあ恵まれた年ともいえる。

しかし、ここでことしの農業者の動きが大事なことになる。

農業に対する考え方、生活に対する態度がそれなのである。

先般、役場の二階で農林省の係や大学の先生方と、みのり会の代表とが話し合ったさいに、「土地を売ったアブク金は身につかない」「園芸や畜産地帯の生活態度は慎重だ」という話がでた。

きびしい経済のなかで、努力によって得た金は生活の中で、りっぱに花開くということである。

豊作も、米価の値上がりも、ひとりでに入ってきたアブク金だと思ったら、大変な間違いである。

追いつめられた農業環境の中で、いかに合理的な生産を、生活を組み立てるかに心をいたすべきか、と思うこのごろである。

公衆衛生推進委員が研修会

八月二十三日、公衆衛生推進委員会議が分室で開かれ、秋期の保健衛生事業について話し合いが行なわれました。

この会議では、小児まひや種とう、インフルエンザなどの予防接種、十月からはじまる総合検診、婦人検診、間接撮影、胃部検診、今月十三日から来年三月までに九回にわたって来町する献血車への協力のことなどが話し合われました。

乳児検診

月日	会場	時間	対象地区	対象児
9・21	峰岡中学校	午後1時30分～2時30分	峰岡地区	昭47年10月～昭48年5月生れの乳児
9・28	松野尾駐在室	〃	松野尾，四ツ郷屋地区	1歳未満児

歯の病気の予防と管理

砂糖の害

県歯科医師会理事　白石敏彦

砂糖の消費量に比例して虫歯が増加することから、砂糖が虫歯の発生と進行に深い関係があることはよく知られていますが、砂糖をあたかも栄養食品のように思いちがいしている人が、意外に多いようです。

そのうえ、チクロ騒ぎの反動で全糖なら大丈夫というムードになっているのは、まことに困った現象です。

日本人の食生活は以前よりは改善されていますが、やはり主食にかたよっており総カロリーの七〇パーセントが炭水化物（糖質）ですから、とくに含糖食品を余分にとる必要はないのです。

ところが、子どもがほしがるからといってチョコレートやキャラメルなどのお菓子類やジュース、コーラなどの甘い飲物を考えなしに与えてしまう親たちが多く、その結果、子どもたちの虫歯の激増や肥満児の大量製造、食欲不振や偏食による栄養失調などとなって現われており、砂糖の公害は今や社会問題となっているのです。

9月14日　午前7時20分から15分間　NHKテレビ番組「ふるさと散歩」で巻町が紹介されます